

平成30年度 東海教育オーディオロジー研究協議会 第15回講演会

1 日 時 平成31年2月3日(日) 10:10~16:00

2 会 場 名古屋市総合社会福祉会館 TEL 052-911-3191
 北区清水四丁目17-1(北区総合庁舎内)
 ※地下鉄名城線「黒川」下車徒歩5分、黒川交差点 南300m



3 講 師 荒尾内科・耳鼻咽喉科 医師
 荒尾 はるみ 先生

4 日 程 9:50~10:10 受付
 10:10~10:15 開会式・日程説明
 10:15~12:00 講義と実習『明日からの指導に活かす 言語(日本語)発達検査』
 12:00~13:00 昼食
 13:00~15:30 講演『難聴児への支援-地域耳鼻咽喉科診療所の役割と聾学校との連携-』
 15:30~15:50 質疑応答
 15:50~16:00 閉会式

5 参加費 会員無料(非会員:1,000円)

6 定 員 100名

7 申 込 (1)事務局に申込書を提出、またはFAX、HPからメールでお申し込みください。
 申込先:愛知県立千種聾学校内 東海教育オーディオロジー研究協議会事務局:筒井秀俊
 FAX:052-723-6824 電話でのお申し込みはご遠慮ください。
 HP:<http://www.normanet.ne.jp/~tokai/>

(2) 締 切 **平成31年1月18日(金)**
準備の都合上、手話通訳が必要な方は**1月8日(火)**までにお申し込みください。

- 8 その他
- ・公共交通機関でお越しください。
 - ・昼食は、会場でおとりいただけます。
 - ・17時より懇親会を計画しています。ぜひご参加ください。

..... 切り取り

東海教育オーディオロジー研究協議会 第15回講演会 参加申込書

年 月 日

| | |
|--|-----------------------------|
| 名 前: | 所 属: FAX、mail等連絡先: |
| 手話通訳: <u>必要</u> ・ <u>不要</u> | 懇親会: <u>参加</u> ・ <u>不参加</u> |
| 参 加: <u>午前</u> ・ <u>午後</u> ・ <u>終日</u> | |

裏面に続く

9 紹介

(1) 午前の講師 岐阜県立揖斐特別支援学校 教諭 小川征利

(2) 午前の内容

聴覚に障害のある子どもたちは、聴覚入力の不足や歪みなどによって、音声言語である日本語の習得に遅れなどの問題を有することが多いです。そのため、言語（日本語）発達検査を実施し、学習指導のための情報として活用することが重要となってきます。本講座では、テクノエイド協会が実施した感覚器障害戦略研究において用いられ、2012年に「聴覚障害児の日本語言語発達のために～ALADJINのすすめ～」で紹介された「質問応答検査」「PVT-R 絵画語い発達検査改訂版」「抽象語理解力検査」を始め、日本語の発達状況や躓きの要因を検討するために有効な検査を紹介すると共に、その解釈や活用の仕方について解説します。紹介する検査については、幼児期から高等部段階まで幅広い年齢が対象となるように予定しています。

(3) 午後の講師

荒尾 はるみ 先生

医療法人 荒尾内科・耳鼻咽喉科 医師

<経歴>

昭和57年金沢大学医学部卒業後、名古屋大学耳鼻咽喉科学教室にて聴覚障害の研究、愛知県総合保健センター聴力音声言語診断部室長、稲沢市民病院耳鼻咽喉科医長、あいち小児保健医療総合センター耳鼻いんこう科部長。

平成15年10月1日に荒尾内科・耳鼻咽喉科開院

<所属学会・資格>

医学博士、日本耳鼻咽喉科学会専門医、補聴器適合判定医、補聴器相談医

(4) 講演要旨

当院は2003年10月の開院当時から、一般診療とともに「言語聴覚室」をたちあげ、「きこえ」と「ことば」を主訴にもつ方たちを積極的に受け入れています。2017年3月末までに当院を受診した難聴児（15歳以下）は371名（女子170名男子201名）を数えました。2012年5月末の時点で何らかの医療を行っている両側難聴児109名を対象に、カルテから年齢、診断、原因、合併症、良聴耳の聴力補聴状況、医療内容について検討しました。対象児の大半が聴力評価及び補聴を含めた聴覚管理を目的としていました。また、対象児109名中61名は聾学校以外のインクルーシブな環境で保育・教育を受けていましたが、その中の46名に対して聾学校が通級指導にて発音指導・言語指導・教科補充・進路指導などを行い、重要な役割を担っていました。難聴児の聴力活用・保全には聾学校の先生方と受診しやすい地域診療所の連携が不可欠であります。併せて、最新の聴力評価方法・新生児聴力スクリーニングの状況・人工内耳の動向についても触れたいと思います。